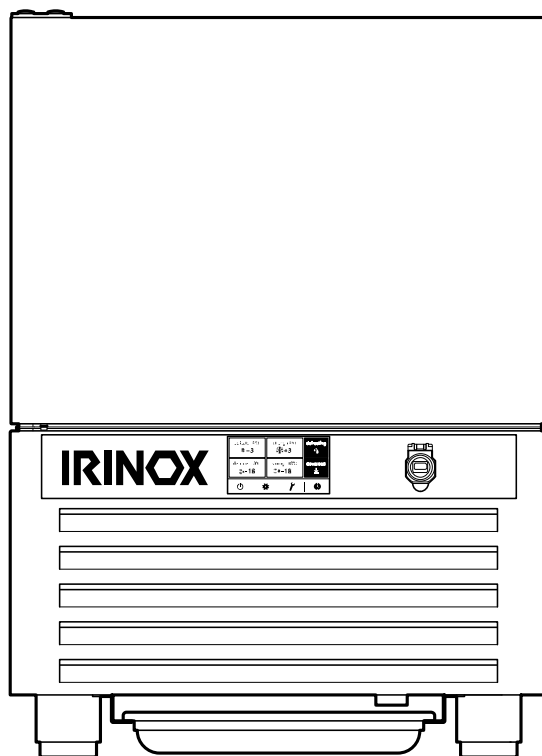


ブラストチラー&ショックフリーザー
EF NEXT XS (業務用)

IRINOX[®]

取扱説明書



このたびは、当社のブラストチラー&フリーザー（EF NEXT XS）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

目 次



安全上のご注意	1～7	仕様	52
各部の名称	8～10	付属品	52
本体	8・9	保証書(別添付)について/消耗部品 /補修用性能部品の保有期間	53
操作パネル部	10		
操作手順	11～19		
電源を入れる	11		
食材をオートモードで冷却または冷凍する (芯温プローブを使う)	12～14		
食材をマニュアルモードで冷却または冷凍する (芯温プローブを使わない)	15～17		
庫内への食材の入れかた	18・19		
庫内の霜取りのしかた	20・21		
記録された温度データなどを USBメモリにコピーする	22・23		
お手入れ	24～30		
毎日のお手入れ	24～28		
週に1回のお手入れ	29・30		
各設定値を変更する	31～40		
各サイクルアイコンの設定温度や時間の 設定値変更について	31～35		
各サイクルアイコンの初期設定値一覧	31～34		
各サイクルアイコンの設定値を変更する	35		
庫内温度表示の単位の変更や、 ソフトウェアバージョンの確認について ...	36～40		
時間または日付を変更する	37		
温度表示単位の切替え	38		
ソフトウェアのバージョンを確認	39		
アイコンのタップ音のONまたはOFFの切替え ..	40		
アラームコード	41～43		
アラームコードについて	41		
アラームコードの履歴表示の確認	42・43		
据え付けについて	44～49		
据付前の準備	44・45		
据付け	45・46		
庫内の排水について	47・48		
据付後の動作確認	49		

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付けは、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はアース端子に接続してください。
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

庫内以外には直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的にコンセントから電源プラグを抜いて確認し、ガタのないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警告



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



接触禁止

使用中は、本機の外側も高温になるので、取手や操作部以外さわらないこと

高温になっている部分に触れると、やけどの原因になります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグ抜く

異常時は、『stop』アイコンをタップして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

電源プラグ使用の場合、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



禁止

庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転しないこと

庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。



素手禁止

冷凍完了直後の食材が入ったホテルパンは、素手で持たないこと

冷凍完了直後の食材が入ったホテルパンは、素手で持ちますと低温やけどの原因になります。



注意

芯温プローブの先端は尖っているため、取り扱いに注意すること

芯温プローブの先端に触れますと、ケガの原因になります。



禁止

操作部は、先の尖ったものや、硬いもので押さないこと

操作部を破損しますと、漏電、感電の原因になります。



除菌

芯温プローブを使用する場合、使用する前にアルコールで除菌すること

芯温プローブを除菌せずに食材に差し込みますと、食材内で菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

⚠ 警告



急速冷却中または急速冷凍中、頻繁に扉の開閉を繰り返さないこと

冷却または冷凍効果が発揮できず調理が不十分となり、健康障害の原因および食材の品質低下の原因になります。



庫内ファンモーター部分に、なるべく水分が付かないようにして清掃すること

庫内ファンモーターは、防沫構造*で、万一水がかかっても安心ですが、経年劣化で保護材が劣化し防水性能が悪くなる場合があります。その場合、漏電、ショート、感電の原因になります。
*防沫構造…いかなる方向からの飛沫を受けても有害な影響のない構造。



プラグ抜く

お手入れのときや、点検のときは、必ずコンセントから電源プラグを抜くこと

漏電、ショート、感電の原因になります。
誤って操作部に触れて、庫内ファンが回転した場合、ケガの原因になります。



プラグ抜く

庫内のファンカバーを取り外すときは、必ずコンセントから電源プラグを抜くこと

庫内ファンが回っている場合、または誤って操作部に触れて庫内ファンが回った場合、ケガの原因になります。



禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。
庫内や機械内部からの水漏れの原因にもなります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

電気の配線に不備があると、感電、火災の原因になります。
給水や排水の配管に不備があると、周囲を濡らす原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりすると転倒、落下によるケガなどの原因になります。



周囲空ける

本機は、隣接面から後面は100mm以上離すこと

熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。



防水処置

水などをこぼしてもよい所に据え付けること

使用中、扉を開けたとき、扉に付着した水などが床に落ちます。
ドレンパンからあふれ出た水などが床面などを濡らすことがあります。
濡れると不都合な所には、据え付けしないでください。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下した場合、ケガの原因になります。
水がこぼれて機械内部に入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

コンセントから電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



排水点検

始業時に、排水ホースに詰まりがないか、点検をおこなうこと

排水ホースが詰まると、排水がスムーズにおこなわれず、庫内から水などがあふれ出た場合、周囲を濡らす原因になります。



挿入禁止

庫内ファンが回転しているときは、ファンカバーの隙間から、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガの原因になります。
庫内ファンや箸、スプーンなどが破損し、食材などに入った場合、異物混入の原因になります。



指挟まない

扉や空気吸い込み口カバーを閉めるときは、指を挟まないこと

ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



禁止

扉にぶら下がったり、乗ったりしないこと

製品が転倒した場合、ケガの原因になります。

⚠ 注意



お手入れ

ご使用後は、庫内の清掃をおこなうこと
雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



接触禁止

庫内温度が0℃以下のときは、庫内各部位に直接触れないこと
庫内に直接触れた場合、皮膚が引っついてケガの原因になります。
低温やけどの原因にもなります。



接触禁止

庫内の蒸発器フィンに直接触れないこと
蒸発器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



接触禁止

凝縮器フィンに直接触れないこと
凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



ゴム手袋

ファンカバーの取り付け、取り外しする際は、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
素手でおこないますと、ケガをする原因になります。



ゴム手袋

庫内を洗浄するときや、凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
庫内ファンや蒸発器などの部品に直接触れますと、ケガの原因になります。
とくに、蒸発器フィンや凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



洗い流す

洗剤を使って庫内や蒸発器を洗浄した後は、洗剤成分が残らないように水で十分にすすぎをおこな
い乾燥させること
洗剤で清掃した各部品は、洗剤成分をきれいに拭き取ること
洗剤成分が残っていると、食材に混入し、健康障害の原因になります。



アルコール除菌

庫内は清掃後、必ずアルコール除菌をおこない、アルコール除菌後は十分に乾燥させること
乾燥させないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



開放禁止

長時間使用しないときは、庫内を完全に乾燥させてから扉を閉めておくこと
庫内が乾燥していないとカビの発生の原因になります。
扉を開け放しておくと、庫内に虫などが入り込む原因になります。



開放禁止

お手入れのときや、デフロスト（霜取り）のとき以外、ドレンキャップを長時間取外ししておか
ないこと
庫内が乾燥していないとカビの発生の原因になります。
庫内に虫などが入り込む原因になります。



洗浄乾燥

食材を入れるホテルパンなど直接食材に触れるものは、ご使用後、洗剤剤を使って洗浄したあと、
十分乾燥させること
付着した食材が残っていたり、水分が残っていたりしますと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因にな
ります。

⚠ 注意



排水

1回の冷却サイクルまたは冷凍サイクルの終了後は、ドレンパンに溜まった水などを捨てること
ドレンパンに溜まった水を捨てないと、ドレンパンから水があふれ出て床面を濡らしたり、ドレンパン内で雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。



プラグ抜く

ご使用後は、安全のためコンセントから電源プラグを抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



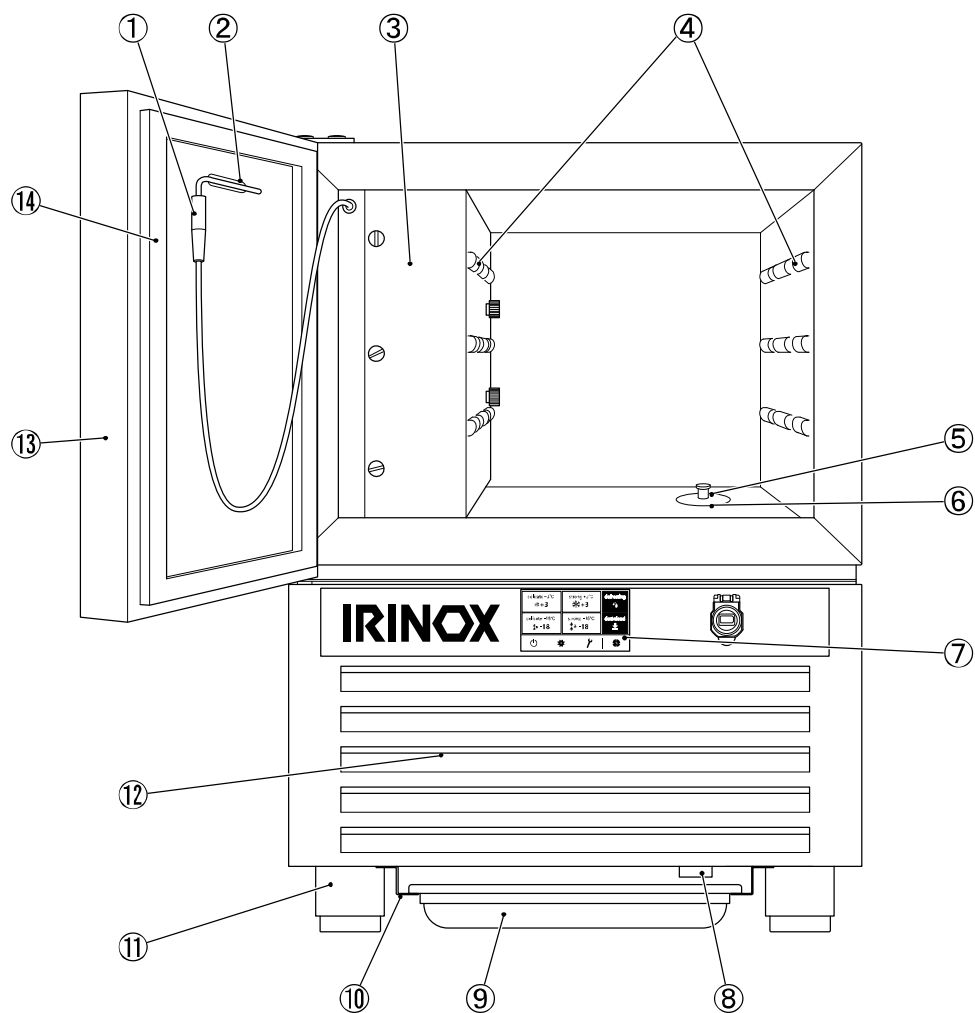
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称

本機は、食材を冷却、または冷凍する機械です。

本体



①芯温プローブ

食材の芯温（中心温度）を設定した芯温になるまで冷却または冷凍するときに使用します。

②芯温プローブホルダー

内部にマグネットが入っていて、芯温プローブの先端部分を固定することができます。

③ファンカバー

庫内ファンと、蒸発器フィンを保護するカバーです。
付属の専用グリッドを乗せる棚が付いています。

④棚

食材を入れたホテルパンを乗せます。

⑤ドレンキャップ

庫内の底に溜まった水などを排水口から流し落とすときに取り外します。

⑥排水口

庫内の底に溜まった水などをここから、ドレンパイプを通して、本機下部のドレンパンに流し落とします。

⑦操作パネル部

冷却または冷凍の選択、デフロスト（霜取り）の選択、設定の変更などをおこないます。
「操作パネル部」（10ページ）を参照してください。

⑧ドレンパイプ

庫内底の排水口から流れ落ちた水などがここを通ります。

⑨ドレンパン

庫内底の排水口から流れ落ち、ドレンパイプを通った水などを受け止めます。

⑩ドレンパン取付けブラケット

ドレンパンは、本機の使用時にこのブラケットに乗せます。

⑪アジャスト脚

本機を水平にするときに調節します。

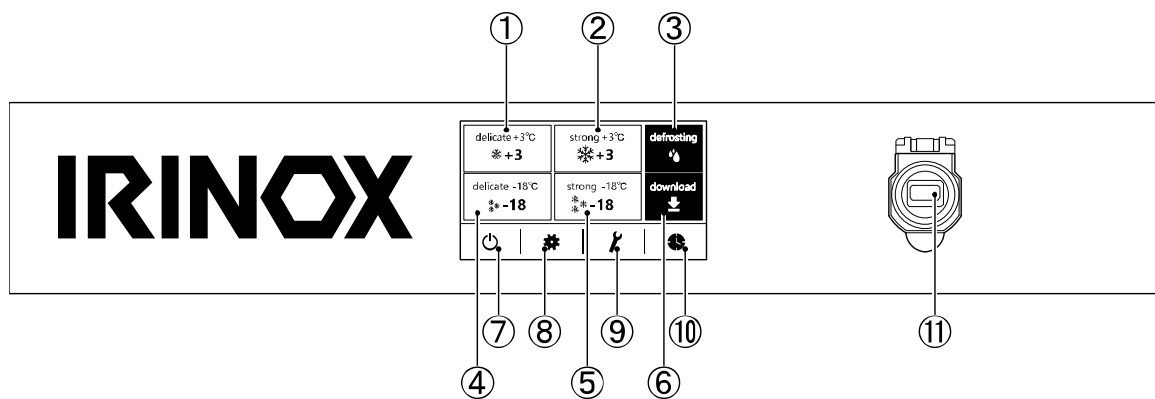
⑫空気吸い込み口カバー

凝縮器を保護しています。
空気吸い込み口カバーの内側には、凝縮器フィルターがあります。

⑬扉

⑭扉パッキン

操作パネル部



① 『delicate +3°C』 アイコン

−1°Cで急速冷却をおこなった後、+2°C（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で保冷します。

② 『strong +3°C』 アイコン

−20°Cで急速冷却をおこなった後、−1°Cで冷却をおこない、+2°C（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で保冷します。

③ 『defrosting』 アイコン

庫内に付着した霜を取り除くときに使用します。

④ 『delicate −18°C』 アイコン

0°Cで冷却をおこなった後、−35°Cで急速冷凍をおこない、その後、−19°C（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

⑤ 『strong −18°C』 アイコン

−35°Cで急速冷凍をおこなった後、−19°C（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

⑥ 『download』 アイコン

本機内に記録されたサイクル中の温度データなどをUSBメモリにコピーするときに使用します。

⑦ 『』 アイコン

待機画面に切替えます。

⑧ 『』 アイコン

サイクルパラメーターの設定変更のモードに入るときに使用します。
各サイクルアイコンの目標芯温、庫内温度、冷却時間、保冷温度などの設定値を変更することができます。

⑨ 『』 アイコン

ユーザーパラメーターの設定変更のモードに入るときに使用します。
本機の時計や温度の単位、温度記録設定などの設定を変更することができます。

⑩ 『』 アイコン

現在の日付と時間が3秒間表示されます。

⑪ USBポート

本機内に記録されたサイクル中の温度データなどをUSBメモリにコピーするときに使用します。
USBメモリは、お客様にてご用意ください。

操作手順

お願い

初めて本機をお使いになる場合は、「お手入れ」(24 ページ)を参照して庫内のお手入れをおこなってください。

電源を入れる

本機専用ブレーカを『ON(入)』にしてください

本機のディスプレイに、待機画面が表示されます。




本機に異常がある場合、ディスプレイにアラームコードが表示されます。
アラームコードが表示された場合は、「アラームコード」(41 ページ)を参照してください。

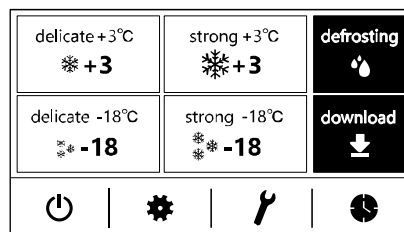
本機の電源を切る場合は、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。

食材をオートモードで冷却または冷凍する（芯温プローブを使う）

芯温プローブを使用すると、食材の芯温が設定した温度になるまで冷却、または冷凍をおこないます。食材を適温で冷却、冷凍したい場合にお使いいただくと便利です。

1. ホーム画面が表示されていることを確認してください

待機画面になっている場合は、『』アイコンをタップして、ホーム画面を表示させてください。



2. お好みのサイクルアイコンをタップしてください

「delicate +3°C」（デリケートチリングサイクル）

−1°Cで急速冷却をおこなった後、+2°C（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で保冷します。

「strong +3°C」（ストロングチリングサイクル）

−20°Cで急速冷却をおこなった後、−1°Cで冷却をおこない+2°C（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で保冷します。

「delicate −18°C」（デリケートフリージングサイクル）

0°Cで冷却をおこなった後、−35°Cで急速冷凍をおこないます。その後、−19°C（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

「strong −18°C」（ストロングフリージングサイクル）

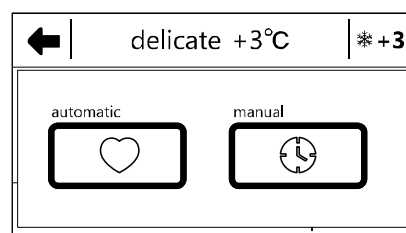
−35°Cで急速冷凍をおこなった後、−19°C（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

お願い

フリージングサイクルの処理が終了した後は、冷凍保存モードに切り替わり、庫内は−19°Cに保たれますが、この状態のまま本機を常時「保存庫」として使用しないでください。

蒸発器表面が過度に霜におおわれ、冷却効果が十分に発揮できなくなります。

タップしたサイクルの画面が表示され、右図のような「automatic」と「manual」の選択画面が表示されます。



3. 冷却または冷凍する食材を庫内に入れてください

庫内の棚板の上に、食材が入ったホテルパンを乗せてください。

食材をより効率よく冷却または冷凍するには、「庫内への食材の入れかた」(18ページ)を参照して、食材を正しく庫内に入れてください。

メモ

熱い食材を冷却または冷凍する場合は、食材を庫内に入れる5分以上前に、冷却サイクルまたは冷凍サイクルをおこなって、庫内をあらかじめ冷やしておいてください。

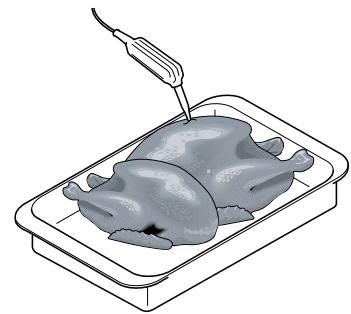
お願い

飛び散りやすい材料を食材表面にふりかけた状態で冷却または冷凍をおこなわないでください。
庫内奥にある蒸発器フィンに付着して故障の原因になります。

4. 芯温プローブを食材に差し込んでください

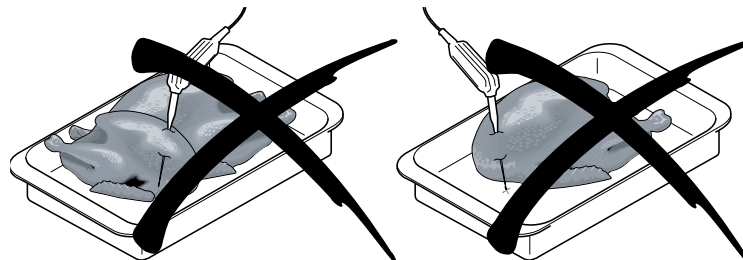
扉の芯温プローブホルダーから芯温プローブを取り外し、芯温プローブの先端部を食材に差し込んでください。

芯温プローブは、先端部分ができるかぎり食材の中心部にくるように差し込んでください。



お願い

芯温プローブの先端が食材を貫通した状態、またはホテルパンに当たった状態にしないでください。
芯温プローブの先端が食材の中央に差し込まれていないと、食材の正しい温度をはかることができません。



5. 本機の扉を閉めてください

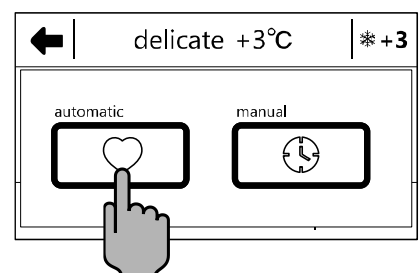
お願い

本機の扉が開いていると、冷却サイクルまたは冷凍サイクルを開始しても機械は動作しません。
ディスプレイに「ALARM ALD」が表示されます。

6. 『automatic』アイコンをタップしてください

芯温プローブを使って冷却サイクルまたは冷凍サイクルをおこなう場合は、『automatic』アイコンをタップしてください。

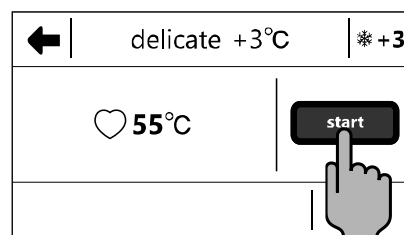
「manual」は、庫内冷却温度と、設定した時間による制御になります。



冷却サイクルまたは冷凍サイクルの確認画面が表示されます。

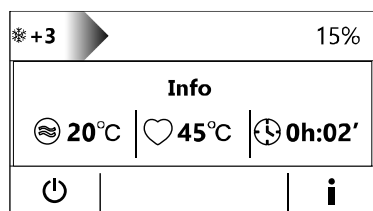
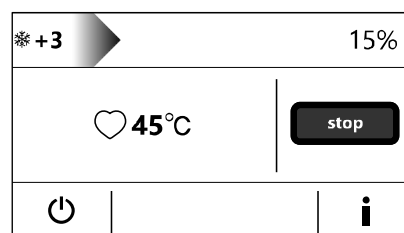
7. 冷却サイクルまたは冷凍サイクルを開始してください

『start』アイコンをタップして、冷却サイクルまたは冷凍サイクルを開始してください。



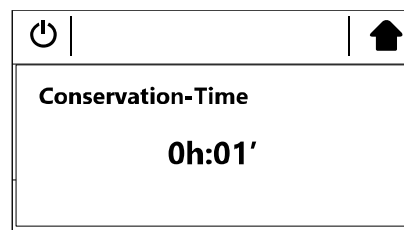
ディスプレイの上部に動作完了の割合(%)、中央には現在の芯温が表示されます。

『i』アイコンをタップすると、ディスプレイに現在の庫内温度と芯温、冷却または冷凍開始からの経過時間が3秒間表示されます。



サイクルを途中で止める場合は、『stop』アイコンをタップしてください。

食材の芯温が設定温度になると、ブザーが5秒間鳴り、保冷モードに切り替わって、庫内を設定温度に保ちます。ディスプレイに保冷の経過時間が表示されます。「各サイクルアイコンの初期設定値一覧」(31~34ページ)を参照してください。



保冷を止める場合は『🏠』アイコンをタップしてください。サイクルを終了し、ホーム画面に戻ります。

8. 食材から芯温プローブを抜いて、食材を取り出してください

扉を開け、食材から芯温プローブを抜き取ってください。

芯温プローブは、扉内側にある芯温プローブホルダーに取り付けてください。

お願い

必ず先に食材に差し込んだ芯温プローブを抜いてからホテルパンを取り出してください。


芯温プローブを食材から抜かずにホテルパンを庫内から出すと、芯温プローブの配線を損傷する恐れがあります。

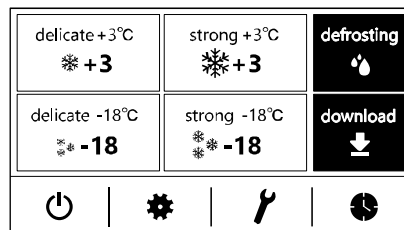
食材を入れたホテルパンを庫内から取り出してください。

食材をマニュアルモードで冷却または冷凍する（芯温プローブを使わない）

食材を設定した時間になるまで冷却または冷凍をおこないます。

1. ホーム画面が表示されていることを確認してください

待機画面になっている場合は、『』アイコンをタップして、ホーム画面を表示させてください。



2. お好みのサイクルアイコンを押してください

「delicate +3°C」（デリケートチリングサイクル）

-1°Cで急速冷却をおこなった後、+2°C（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で保冷します。

「strong +3°C」（ストロングチリングサイクル）

-20°Cで急速冷却をおこなった後、-1°Cで冷却をおこない+2°C（工場出荷時の設定温度）の庫内温度で保冷します。

「delicate -18°C」（デリケートフリージングサイクル）

0°Cで冷却をおこなった後、-35°Cで急速冷凍をおこないます。
その後、-19°C（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

「strong -18°C」（ストロングフリージングサイクル）

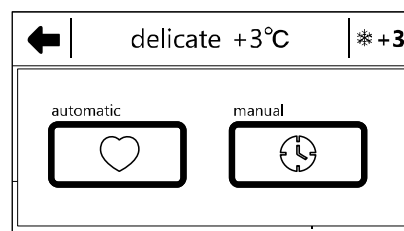
-35°Cで急速冷凍をおこなった後、-19°C（工場出荷時の設定温度）で冷凍保存します。

お願い

フリージングサイクルの処理が終了した後、冷凍保存モードに切り替わり、庫内は-19°Cに保たれますが、この状態のまま本機を常時「保存庫」として使用しないでください。

蒸発器表面が過度に霜におおわれ、冷却効果が十分に発揮できなくなります。

タップしたサイクルの画面が表示され、右図のような「automatic」と「manual」の選択画面が表示されます。



3. 冷却または冷凍する食材を庫内に入れてください

庫内の棚板の上に、食材が入ったホテルパンをのせてください。

食材をより効率よく冷却または冷凍するには、「庫内への食材の入れかた」(18ページ)を参照して、食材を正しく庫内に入れてください。

メモ

熱い食材を冷却または冷凍する場合は、食材を庫内に入れる5分以上前に、冷却サイクルまたは冷凍サイクルをおこなって、庫内をあらかじめ冷やしておいてください。

お願い

飛び散りやすい材料を食材表面にふりかけた状態で冷却または冷凍をおこなわないでください。
庫内奥にある蒸発器フィンに付着して故障の原因になります。

4. 本機の扉を閉めてください

お願い

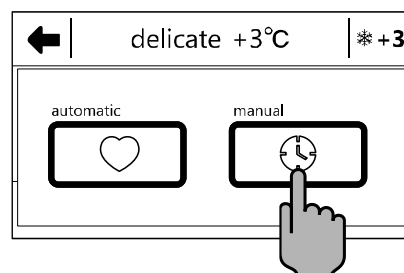
本機の扉が開いていると、冷却サイクルまたは冷凍サイクルを開始しても機械は動作しません。
ディスプレイに「ALARM ALD」が表示されます。

5. 『manual』アイコンをタップしてください

芯温プローブを使って冷却サイクルまたは冷凍サイクルをおこなう場合は、『automatic』アイコンをタップしてください。

『manual』は、庫内冷却温度と、サイクルの時間による制御になります。

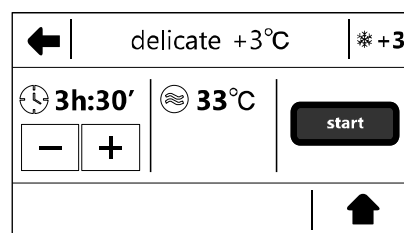
冷却サイクルまたは冷凍サイクルの確認画面が表示されます。



6. 表示されているサイクルの設定時間を確認してください

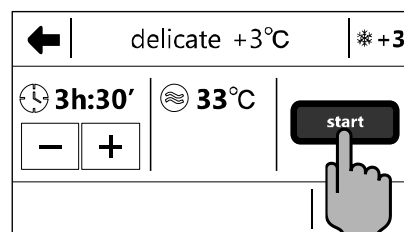
表示は、左からサイクルの設定時間、現在の庫内温度になります。

時間を変更する必要がある場合は、『-』アイコン、または『+』アイコンをタップして時間を変更してください。
サイクル中でも時間の変更をおこなうことができます。



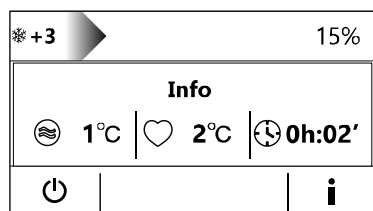
7. 冷却サイクルまたは冷凍サイクルを開始してください

『start』アイコンをタップして、冷却サイクルまたは冷凍サイクルを開始してください。



ディスプレイの上部に動作完了の割合（％）、中央には冷却または冷凍開始からの経過時間と現在の庫内温度が表示されます。

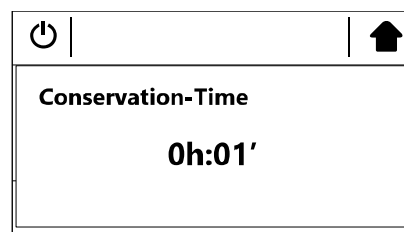
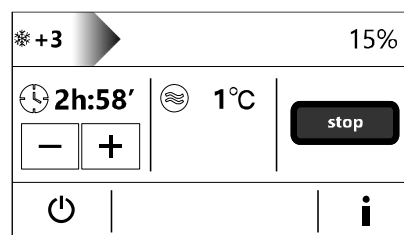
『i』アイコンをタップすると、ディスプレイに現在の庫内温度と芯温、冷却または冷凍開始からの経過時間が3秒間表示されます。



サイクルを途中で止める場合は、『stop』アイコンをタップしてください。

冷却または冷凍の設定時間になると、ブザーが5秒間鳴り、保冷モードに切り替わって、庫内を設定温度に保ちます。ディスプレイに保冷の経過時間が表示されます。「各サイクルアイコンの初期設定値一覧」(31～34ページ)を参照してください。

保冷を止める場合は、『🏠』アイコンをタップしてください。サイクルを終了し、ホーム画面に戻ります。



8. 食材を取り出してください

扉を開け、食材を入れたホテルパンを庫内から取り出してください。

庫内への食材の入れかた

ここでは、食材をより効率よく冷却または冷凍するための庫内への入れかたについて説明します。

庫内に入れる食材の量と温度

庫内に入れる食材の量は、必ず守ってください。

棚一段の食材の量は最大で5kgとして、庫内に入れる最大量は下記のとおりになります。

チリング	フリージング
10kg	9kg

食材の量が多すぎたり、温度が高すぎたりしますと、冷却または冷凍にかかる時間が長くなります。

冷却または冷凍にかかる時間が長くなりますと、細菌の繁殖の抑制が十分におこなえません。

70℃以上の食材を庫内に入れる場合、冷却サイクルは90分以内に芯温が+3℃になるように、冷凍サイクルは4時間以内に芯温が-18℃になるように食材の温度と量を調整してください。

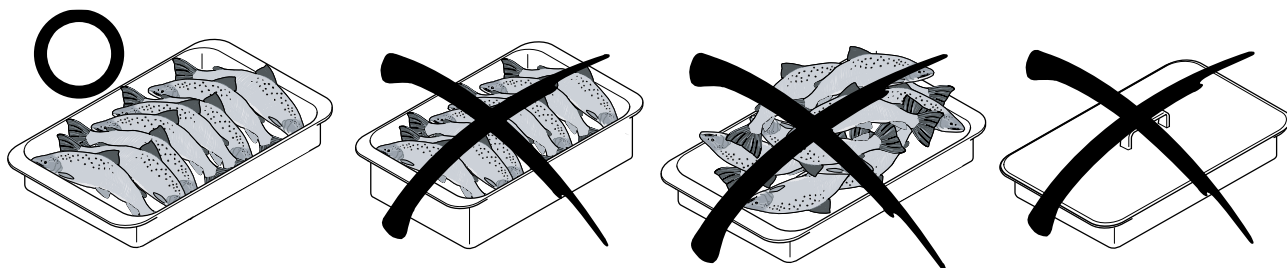
食材をより効率よく冷却または冷凍するためのホテルパンなどへの入れかた

食材をホテルパンなどの容器に入れる場合、底の深いものは使用しないでください。

食材は重ならないようにし、風が当たりやすいように並べてください。

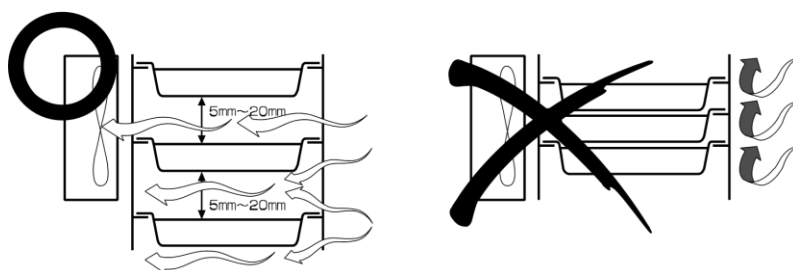
特殊な食材以外は、風の当たりを防ぐような蓋などをかぶせないでください。

食材に蓋をする必要がある場合は、ラップなど冷却や冷凍の妨げになりにくいものを使用してください。

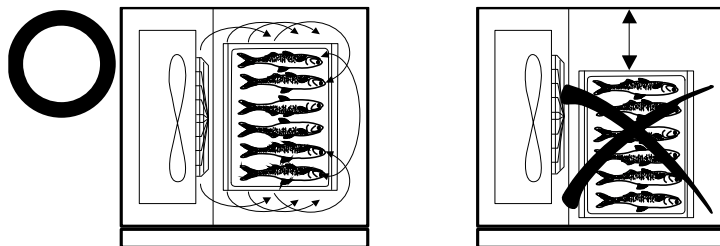


食材を効率よく均等に冷却または冷凍するための庫内への入れかた

食材を入れたホテルパンなどを複数、庫内に入れる場合、食材同士上下の間隔は5mm~20mm程度空けてください。



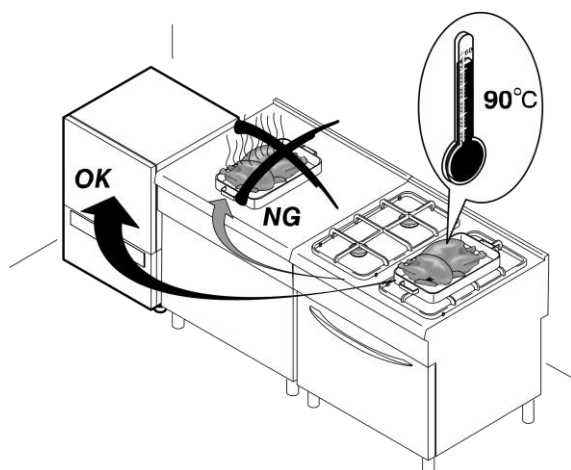
食材は、庫内の前後に対して中央の位置に入れてください。



加熱調理後の食材を庫内に入れて冷却または冷凍する方法

加熱調理後の食材の場合は、あらかじめ庫内を冷やしておいて、加熱調理後の食材を速やかに庫内に入れて、冷却サイクルまたは冷凍サイクルをおこなってください。

加熱調理後は食材の水分が蒸発しているため、冷却または冷凍をおこなうまでの時間が空きますと、食材が水分を失うことになり、柔らかさを失う原因になります。



庫内の霜取りのしかた

庫内やファンに霜が多く付いた場合、霜取り(デフロスト)をおこなってください。

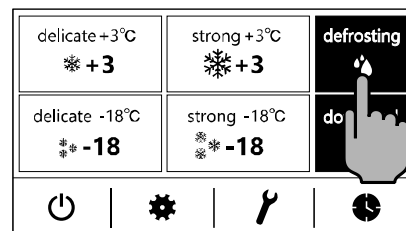
警告



庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転しないこと
庫内のファンカバーを開けた状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。

1. 『defrosting』 アイコンをタップしてください

「defrosting」の画面が表示されます。



2. 本機の扉を開いてください

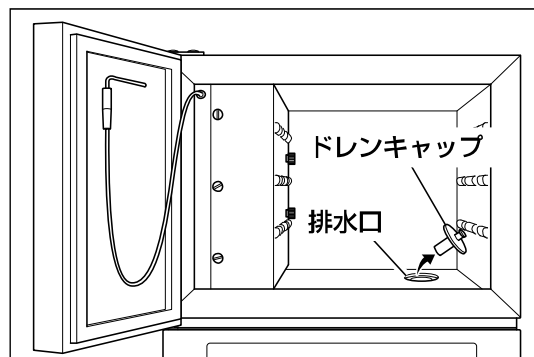
霜取り(デフロスト)中は、本機の扉を開けておいてください。

扉が閉まっている状態で、『start』アイコンをタップしてもブザーが鳴り、ディスプレイには「KEEP THE DOOR OPEN」が表示され本機は霜取り(デフロスト)を始めません。

3. ドレンキャップを外してください

庫内底部にある排水口からドレンキャップを取り外してください。

デフロスト(霜取り)をおこなって、霜が溶けて水になりますと、排水口から本体下部のドレンパンに流れ落ちます。

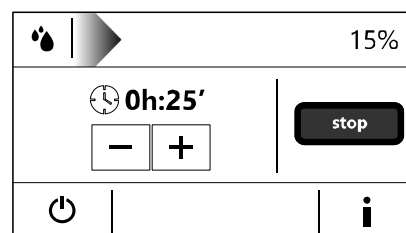
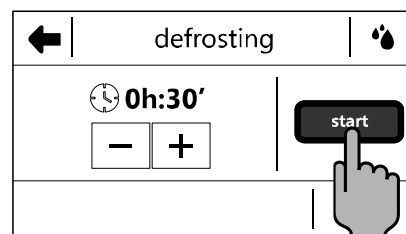


4. 『start』 アイコンをタップしてください

庫内ファンが回転し、霜取り(デフロスト)が始まります。設定された時間(初期設定値は30分)、霜取り(デフロスト)をおこないます。

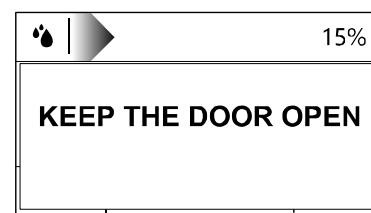
ディスプレイの上部に動作完了の割合(%), 中央には残りの霜取り時間(カウントダウン)が表示されます。

霜取り(デフロスト)中でも、『-』アイコンまたは『+』アイコンをタップすると、霜取り(デフロスト)の時間を変更することができます。



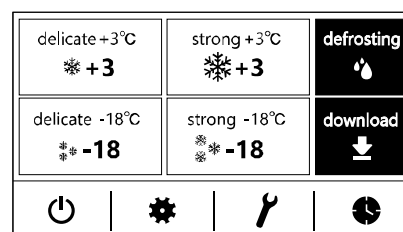
お願い

霜取り(デフロスト)中は、本機の扉を開けておいてください。
霜取り(デフロスト)中、本機の扉を閉めると霜取り(デフロスト)を中断し、ブザーが鳴ります。
残り時間のカウントダウンも停止し、ディスプレイには「KEEP THE DOOR OPEN」が表示されます。
扉を開けると、霜取り(デフロスト)は、継続しておこなわれます。



霜取り(デフロスト)を途中で止めたいときは、『stop』アイコンをタップすると、霜取り(デフロスト)を終了します。

設定した時間になると、霜取り(デフロスト)を終了します。
ディスプレイは、ホーム画面に戻ります。



5. 庫内の底に残っている水などは、布などで拭き取ってください

6. 庫内の排水口にドレンキャップを取り付けてください

7. 本機の扉を閉めてください

8. ドレンパンに溜まった水などを捨ててください

本体下部にあるドレンパンを手前に引いて取り外し、溜まっている水などを捨ててください。

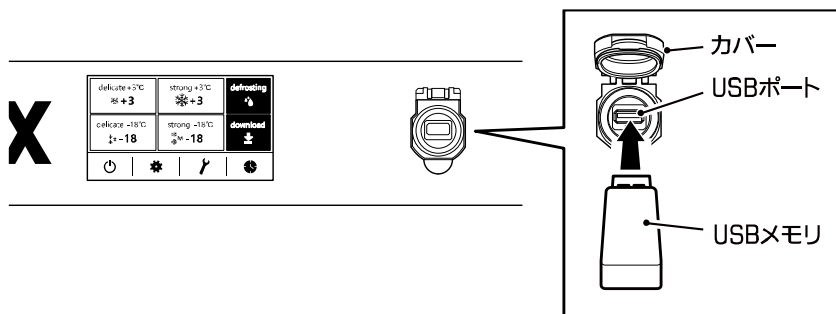
ドレンパンは中性洗剤を使って洗浄し、乾いた布で水分を拭き取ってから、本体下部に元通り取り付けてください。

記録された温度データなどをUSBメモリにコピーする

本機のメモリに記録されたサイクル中の温度データなどをUSBメモリにコピーすることができます。USBメモリは、お客様にてご用意ください。

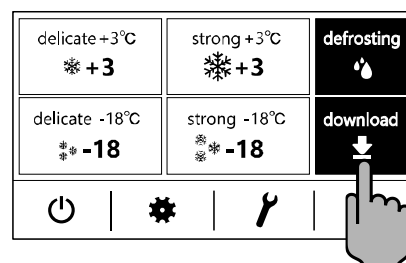
1. 本機のUSBポートにUSBメモリを差し込んでください

USBポートのカバーを開けて、USBポートにお手持ちのUSBメモリを差し込んでください。



2. 『download』アイコンをタップしてコピーを開始してください

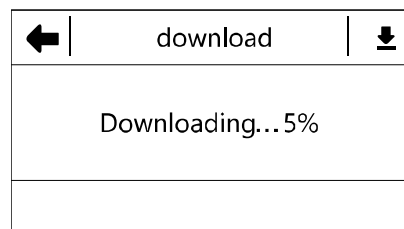
「download」の画面が表示され、USBメモリへデータのコピーが開始されます。



「Downloading…」の値が「100%」になるまで待ってください。

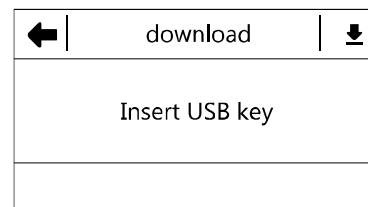
お願い

データのコピー中は、USBメモリを抜き取らないでください。
データが壊れる場合があります。

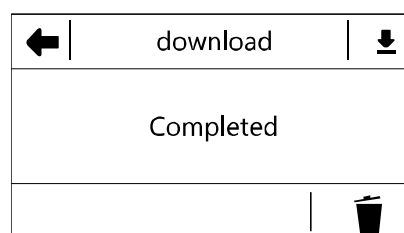


メモ


USBメモリが差し込まれていない状態で、『download』アイコンをタップすると、画面に「Insert USB key」が表示されます。
その場合は、USBポートにUSBメモリを差し込むと、コピーが開始されます。

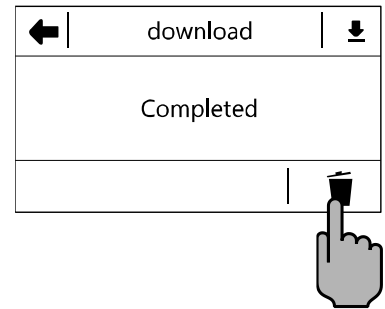



「Downloading…」の値が「100%」になると、画面に「Completed」が表示されます。
これでデータのコピーは完了です。

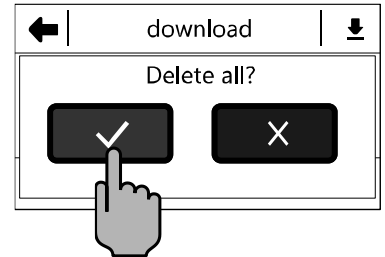


メモ

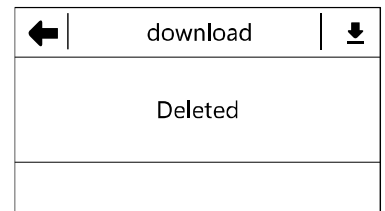
本機のメモリに記録されたデータを削除する場合は、『』アイコンをタップしてください。
確認画面が表示されます。




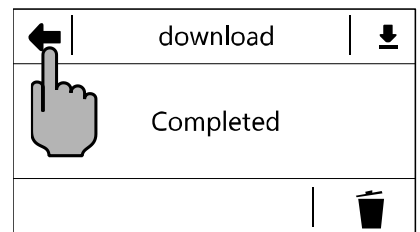
『』アイコンをタップして削除してください。



画面に「Deleted」が表示されます。



『』アイコンをタップすると、ホーム画面に戻ります。



USBポートからUSBメモリを抜き取ってください。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、必ず「お手入れ」をおこなってください。

⚠ 警告



庫内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

次亜塩素酸を含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、錆の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

洗剤を使用する際は食器用中性洗剤を使用してください。

洗剤を使用した場合は洗剤成分が残らないように、すすぎ洗いをおこない、乾燥させてください。

十分に乾燥させないと錆および腐食の原因になります。

アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

毎日のお手入れ

ここでは使用前、または使用後のお手入れについて説明します。

⚠ 警告



庫内ファンモーター部分に、なるべく水分が付かないようにして清掃すること
庫内ファンモーターは、防沫構造*で、万一水がかかっても安心ですが、経年劣化で保護材が劣化し防水性能が悪くなることがあります。その場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

*防沫構造…いかなる方向からの飛沫を受けても有害な影響のない構造。



お手入れのときや、点検のときは、必ずコンセントから電源プラグを抜くこと
漏電、ショート、感電の原因になります。
誤って操作部に触れて、庫内ファンが回転した場合、ケガの原因になります。

⚠ 注意



庫内の蒸発器フィンに直接触れないこと
蒸発器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



ファンカバーの取り付け、取り外しする際は、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
素手でおこないますと、ケガをする原因になります。



庫内を洗浄するときや、凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してからおこなうこと
庫内ファンや蒸発器などの部品に直接触れますと、ケガの原因になります。
とくに、蒸発器フィンや凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



洗剤を使って庫内や蒸発器を洗浄した後は、洗剤成分が残らないように水で十分すすぎをおこない乾燥させること
洗剤で清掃した各部品は、洗剤成分をきれいに拭き取ること
洗剤成分が残っていると、食材に混入し、健康障害の原因になります。



庫内は清掃後、必ずアルコール除菌をおこない、アルコール除菌後は十分に乾燥させること
乾燥させないと、雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

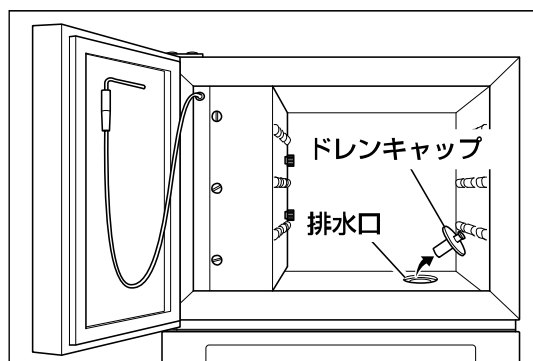
1. 専用コンセントから本機の電源プラグを抜いてください

2. 庫内を清掃してください

庫内底部にある排水口からドレンキャップを取り外してください。

ドレン水などが、排水口より本機下部のドレンパンに流れ落ちます。

ドレンパンが溢れないよう排水量に注意してください。



3. ファンカバーを取り外してください

ファンカバーを固定しているネジを取り外してから、ファンカバーを取り外してください。

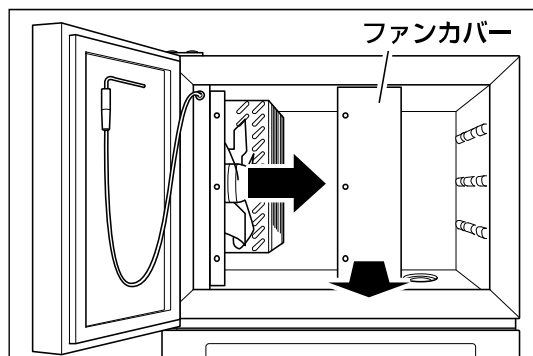
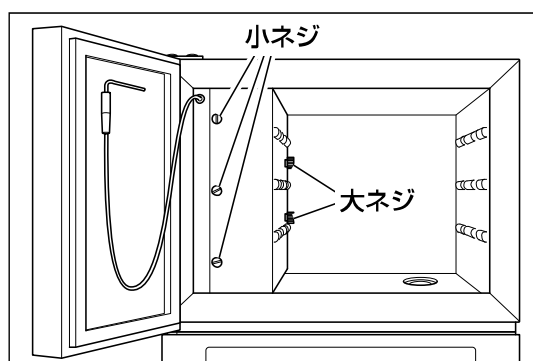
小ネジ（手前側）…… 3個

大ネジ（奥側）…… 2個

お願い

小ネジ(手前側)は、1箇所だけ形状が異なります。
本機に付属しているマイナスドライバーを使って外してください。

ファンカバーは、右側にずらしてから、手前に引き取り出してください。



4. 庫内を洗浄してください

お願い

庫内奥の蒸発器は水洗いが可能ですが、手前の庫内ファンには直接、水や洗浄剤をかけないでください。

庫内ファンは、防沫構造になっており、防水ではありません。

庫内奥の蒸発器を洗浄剤を使って洗浄する場合は、食器用中性洗浄剤を使用し、洗浄後は洗浄剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。

蒸発器のフィンはやわらかいブラシを使って洗浄し、ブラシは必ず縦方向に動かしてください。

かたいブラシを使ったり、ブラシを横方向に動かしたりすると、フィンを破損する原因になります。

蒸発器のフィンは、変形、破損しやすいため、物などをぶつけないようにしてください。

蒸発器のフィンが変形、破損すると、冷却不良の原因になります。

ファンカバーとドレンキャップを食器用中性洗浄剤で洗った後、水で洗浄剤成分をきれいに洗い流してください。

きれいな乾いた布でファンカバーとドレンキャップに付着した水分を拭き取ってください。

食器用中性洗浄剤を染み込ませた布やスポンジで、庫内全体、庫内ファン、扉の内側、芯温プローブ（ケーブル部分を含む）、扉パッキン、本体側の扉パッキンを清掃してください。

蒸発器は水洗いしてください。

蒸発器のフィンはやわらかいブラシを使って洗浄し、ブラシは必ず縦方向に動かしてください。

洗浄剤を使って洗浄する場合は、食器用中性洗浄剤を使用し、洗浄後は洗浄剤成分が残らないように水で十分にすすいでください。

庫内ファン、扉の内側、芯温プローブ（ケーブル部分を含む）、扉パッキン、本体側の扉パッキンは、すすぎ洗いしたきれいな布で、洗浄剤成分をきれいに拭き取ってください。

きれいな乾いた布で庫内に残った水分を拭き取ってください。

各部品をアルコール除菌剤で除菌してください。

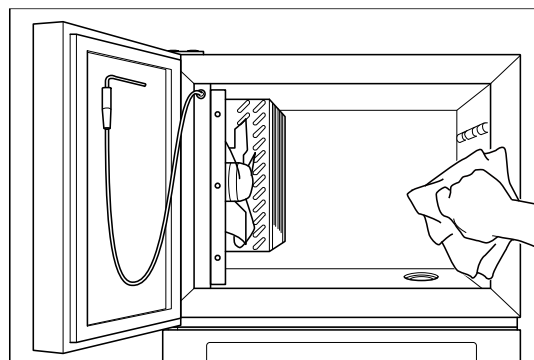
ファンカバーを庫内に元どおり取り付けてください。

ファンカバーは、ネジ（大2個、小3個）で固定してください。

お願い

小ネジ(手前側)は、1箇所だけ形状が異なります。

本機に付属しているマイナスドライバーを使って取り付けてください。



5. 霜取り（デフロスト）を使って庫内を乾燥させてください

警告



庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転しないこと
庫内のファンカバーを取り外した状態で、本機を運転すると、ケガの原因になります。

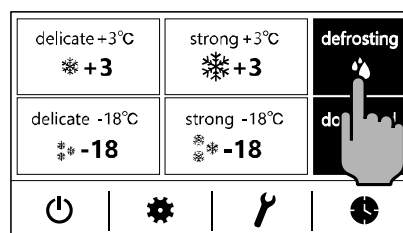
お願い

庫内の洗浄後は、十分乾燥させてください。
水分が残っていると、カビや錆の原因になります。

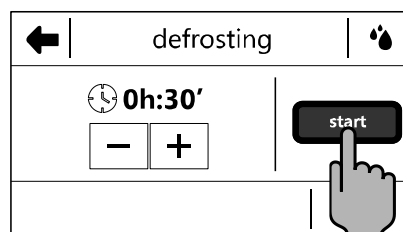
本機専用ブレーカを『ON(入)』にしてください。

扉を開けてください。

『defrosting』アイコンをタップしてください。
「defrosting」の画面が表示されます。

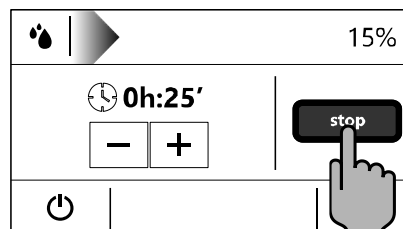


『start』アイコンをタップして庫内ファンを回転させ、
庫内を乾燥させてください。



庫内が乾燥しましたら『stop』アイコンをタップして庫
内ファンの回転を止めてください。

庫内底部の排水口にドレンキャップを取り付けてください。



6. ドレンパンを洗浄してください（ドレンパンをご使用の場合）

本機の下部にあるドレンパンを手前に引いて取り外し、たまった水などを捨ててください。
ドレンパンをお手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でいねいに洗ってください。
ドレンパンをすすぎ洗いをして、付着した洗剤成分を完全に洗い流してください。
ドレンパンに付着している水分を乾いた布で拭き取ってください。
ドレンパンを本機の下部に元通り取り付けてください。

7. 本体外装を清掃してください

警告



庫内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布で丁寧に拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。

週に一回のお手入れ

ここでは週に一度、使用後におこなっていただくお手入れについて説明します。

⚠ 注意



凝縮器フィンに直接触れないこと
凝縮器フィンに直接触れますと、ケガの原因になります。



庫内を洗浄するときや、空気吸い込み口カバー内の凝縮器周辺を清掃するときは、ゴム手袋などを着用してから洗浄や清掃をおこなうこと
ケガの原因になります。

お願い

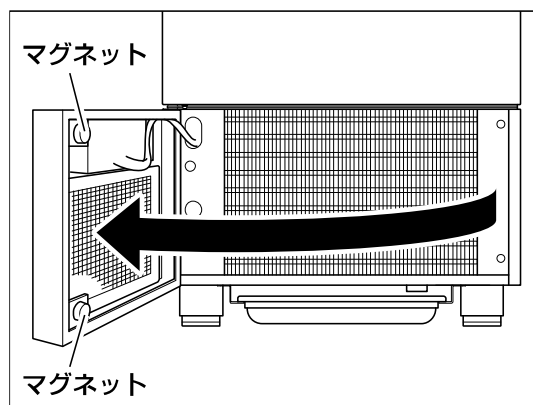
週に一度、使用後に凝縮器フィンの清掃をおこなってください。

本体下部にある凝縮器フィンにゴミやホコリが付着しますと、正常な運転ができなくなり、故障の原因になります。

1. 専用コンセントから本機の電源プラグを抜いてください

2. 本機前面下部の空気吸い込み口カバーを開けてください

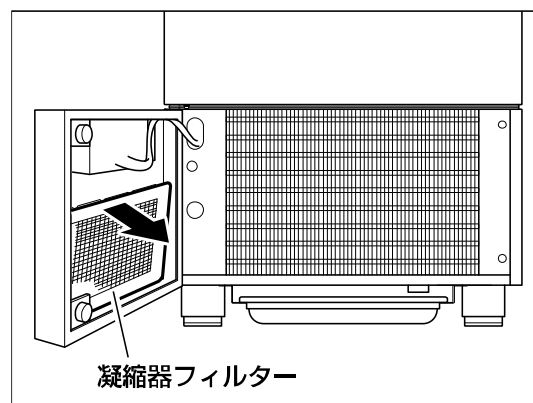
空気吸い込み口カバーは、マグネットで止まっています。



3. 凝縮器フィルターを取り外して洗浄してください

空気吸い込み口カバーの内側に取り付けられている凝縮器フィルターを取り外して、水で洗浄してください。

凝縮器フィルターを洗浄した後は、陰干しして完全に乾燥させてください。



4. 凝縮器フィンに付着しているゴミやホコリをお手持ちの毛先のやわらかいブラシを使用してきれいに取り除いてください

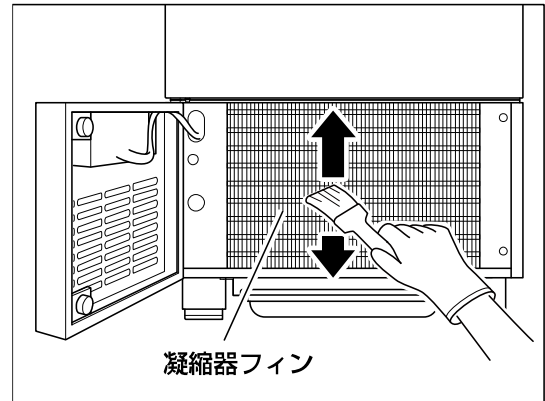
お願い

ブラシは、必ず縦方向に動かしてください。

ブラシを横方向に動かすと、凝縮器フィンを破損する原因になります。

凝縮器フィンは、破損しやすいため、物をぶつけないようにしてください。

凝縮器フィンを破損すると、冷却不良の原因になります。



5. 空気吸い込み口カバーの内側に凝縮器フィルターを元通り取り付けてください

6. 空気吸い込み口カバーを元通り閉めてください

各設定値を変更する

ここでは、各サイクルアイコンの設定温度や時間の設定値を変更するサイクルパラメーターと、時計や表示温度単位、温度データの記録の設定などを変更するユーザーパラメーターについて説明します。

各サイクルアイコンの設定温度や時間の設定値変更について

サイクルパラメーターでは、各サイクルアイコン (delicate +3℃、strong +3℃、delicate -18℃、strong -18℃) の目標芯温、庫内温度、冷却時間、保冷温度などの初期設定値を変更することができます。

各サイクルアイコンの設定変更は、「Automatic」(オートモード)、「Manual」(マニュアルモード)の設定番号ごとにおこなうことができます。

霜取り(デフロスト)の時間も変更することができます。

工場出荷時の初期設定値は標準的な値です。

お買い上げ後、食材や業務内容に応じてお好みの設定値に変更してください。

設定値の変更のしかたは「各サイクルアイコンの設定値を変更する」(35ページ)を参照してください。

各サイクルアイコンの初期設定値一覧

「delicate +3℃」(デリケートチリングサイクル)

メモ

下記表の設定可能な値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは、異なります。

設定番号	設定内容(動作内容)	初期設定値	設定可能な値
S1	冷却時の目標庫内温度	-1℃	-40℃~+40℃
S3	保冷時の目標庫内温度	+2℃	-40℃~+40℃
A1	目標芯温	+3℃	-40℃~+40℃
M1	冷却時間	1時間30分 (1h:30')	1分~3時間 (1分~59分は1分刻み、 1時間以上は5分刻み)

A : 「Automatic」(オートモード)の設定

M : 「Manual」(マニュアルモード)の設定

「delicate +3℃」(デリケートチリングサイクル)の「Automatic」(オートモード)の動作
食材の芯温が+3℃(A1)になるまで、庫内温度-1℃(S1)で冷却します。

その後、+2℃(S3)で保冷します。

「delicate +3℃」(デリケートチリングサイクル)の「Manual」(マニュアルモード)の動作
1時間30分(M1)、庫内温度-1℃(S1)で冷却します。

その後、+2℃(S3)で保冷します。

「strong +3℃」（ストロングチリングサイクル）

メモ

下記表の設定可能な値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは、異なります。

設定番号	設定内容（動作内容）	初期設定値	設定可能な値
S1	冷却第1段階の目標庫内温度	-20℃	-40℃～+40℃
S2	冷却第2段階の目標庫内温度	-1℃	-40℃～+40℃
S3	保冷時の目標庫内温度	+2℃	-40℃～+40℃
A1	冷却第1段階の目標芯温	+20℃	-40℃～+40℃
A2	冷却第2段階の目標芯温	+3℃	-40℃～+40℃
M1	冷却第1段階の動作時間	30分 (0h:30')	1分～3時間 (1分～59分は1分刻み、 1時間以上は5分刻み)
M2	冷却第2段階の動作時間	1時間 (1h:00')	1分～3時間 (1分～59分は1分刻み、 1時間以上は5分刻み)

A : 「Automatic」（オートモード）の設定

M : 「Manual」（マニュアルモード）の設定

「strong +3℃」（ストロングチリングサイクル）の「Automatic」（オートモード）の動作
食材の芯温が+20℃（A1）になるまで、庫内温度-20℃（S1）で冷却します。
その後、食材の芯温が+3℃（A2）になるまで、庫内温度-1℃（S2）で冷却します。
冷却終了後、+2℃（S3）で保冷します。

「strong +3℃」（ストロングチリングサイクル）の「Manual」（マニュアルモード）の動作
30分間（M1）、庫内温度-20℃（S1）で冷却します。
その後、1時間（M2）、庫内温度-1℃（S2）で冷却します。
冷却終了後、+2℃（S3）で保冷します。

メモ

「Manual」（マニュアルモード）の動作時間を変更した場合、M2の動作時間が変わります。
M1の動作時間は変えることはできません。

「delicate -18℃」 (デリケートフリージングサイクル)

メモ

下記表の設定可能な値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは、異なります。

設定番号	設定内容 (動作内容)	初期設定値	設定可能な値
S1	冷凍第1段階の目標庫内温度	0℃	-40℃～+40℃
S2	冷凍第2段階の目標庫内温度	-35℃	-40℃～+40℃
S3	冷凍保存時の目標庫内温度	-19℃	-40℃～+40℃
A1	冷凍第1段階の目標芯温	+6℃	-40℃～+40℃
A2	冷凍第2段階の目標芯温	-18℃	-40℃～+40℃
M1	冷凍第1段階の動作時間	1時間 (1h:00')	1分～3時間 (1分～59分は1分刻み、 1時間以上は5分刻み)
M2	冷凍第2段階の動作時間	3時間 (3h:00')	1分～3時間 (1分～59分は1分刻み、 1時間以上は5分刻み)

A : 「Automatic」 (オートモード)の設定

M : 「Manual」 (マニュアルモード)の設定

「delicate -18℃」 (デリケートフリージングサイクル) の「Automatic」 (オートモード)の動作
 食材の芯温が+6℃ (A1) になるまで、庫内温度0℃ (S1) で冷却します。
 その後、食材の芯温が-18℃ (A2) になるまで、庫内温度-35℃ (S2) で冷却します。
 冷凍終了後、-19℃ (S3) で保冷します。

「delicate -18℃」 (デリケートフリージングサイクル) の「Manual」 (マニュアルモード)の動作
 1時間 (M1)、庫内温度0℃ (S1) で冷却します。
 その後、3時間 (M2)、庫内温度-35℃ (S2) で冷却します。
 冷凍終了後、-19℃ (S3) で保冷します。

メモ

「Manual」 (マニュアルモード)の動作時間を変更した場合、M2の動作時間が変わります。
 M1の動作時間は変えることはできません。

お願い

設定は-40℃まで設定できますが、-35℃より低い温度に設定しないでください。

「strong -18℃」（ストロングフリージングサイクル）

メモ

下記表の設定可能な値は、ディスプレイの表示上の値であり、実際の庫内温度とは、異なります。

設定番号	設定内容（動作内容）	初期設定値	設定可能な値
S1	冷凍時の目標庫内温度	-35℃	-40℃～+40℃
S3	冷凍保存時の目標庫内温度	-19℃	-40℃～+40℃
A1	目標芯温	-18℃	-20℃～+40℃
M1	冷凍時間	4時間 (4h:00')	1分～8時間 (1分～59分は1分刻み、 1時間以上は5分刻み)

A : 「Automatic」 (オートモード)の設定

M : 「Manual」 (マニュアルモード)の設定

「strong -18℃」（ストロングフリージングサイクル）の「Automatic」(オートモード)の動作
食材の芯温が-18℃ (A1) になるまで、庫内温度-35℃ (S1) で冷却します。
その後、-19℃ (S3) で冷凍保存します。

「strong -18℃」（ストロングフリージングサイクル）の「Manual」(マニュアルモード)の動作
4時間 (M1)、庫内温度-35℃ (S1) で冷却します。
その後、-19℃ (S3) で冷凍保存します。

お願い

設定は-40℃まで設定できますが、-35℃より低い温度に設定しないでください。

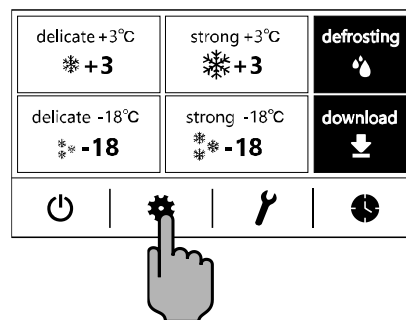
「defrosting」（デフロスト（霜取り））時間の設定値

設定番号	設定内容（動作内容）	初期設定値	設定可能な値
M1	霜取り（デフロスト）時間	30分 (0h:30')	1分～2時間

各サイクルアイコンの設定値を変更する

1. 『*』アイコンをタップしてください

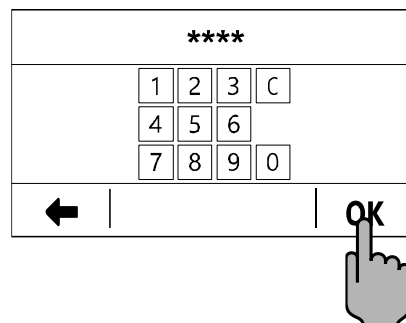
パスワードの入力画面が表示されます。



2. パスワードを入力してください

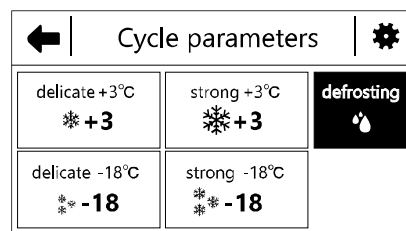
パスワード『9999』を入力して、『OK』アイコンをタップしてください。

「Cycle parameters」の画面が表示されます。



3. 変更したいサイクルアイコンをタップしてください

サイクルの設定画面が表示されます。



4. 各設定番号の設定値を変更してください

『↓』アイコン、または『↑』アイコンをタップすると、ページをスクロールすることができます。

『-』アイコン、または『+』アイコンをタップして値を変更してください。

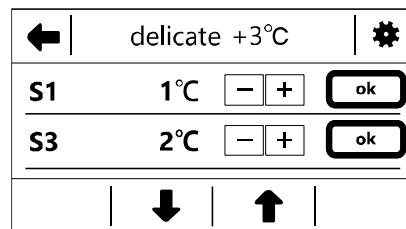
『-』アイコンをタップすると数値が小さくなります。

『+』アイコンをタップすると数値が大きくなります。

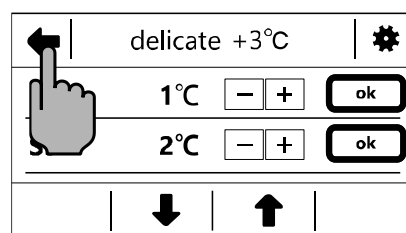
各サイクルアイコンの設定番号の数と詳細、設定値の変更可能範囲については「各サイクルアイコンの初期設定値一覧」(31~34ページ)を参照してください。

変更後は、『ok』アイコンをタップして確定してください。

『ok』アイコンをタップしないと、変更した値は反映されません。



サイクルパラメーターの設定を終了する場合は、『←』アイコンを2回タップすると、ホーム画面に戻ります。



庫内温度表示の単位の変更や、ソフトウェアバージョンの確認について

ここでは、時計や温度の単位、温度記録設定などの変更や、ソフトウェアバージョンの確認のしかたなどについて説明します。

内容には以下の設定項目があります。

設定項目	項目	初期値	設定内容
Hour	時	—	現在の「時」の設定
Min	分	—	現在の「分」の設定
Year	年	—	現在の「年」の設定
Month	月	—	現在の「月」の設定
Day	日	—	現在の「日」の設定
DST	夏時間	0	設定値を変更しないでください。
Scale	温度表示単位	0	温度表示を摂氏(°C)か華氏(°F)かに切替え → 38ページ
Freq	記録間隔	15m (15分)	設定値を変更しないでください。
Mode	データ記録モード	0	設定値を変更しないでください。
Id	機械番号	1	設定値を変更しないでください。
Lang	記録データの言語	1	設定値を変更しないでください。
Rev	ソフトウェアバージョン 番号	—	本機のソフトウェアのバージョンを表示 → 39ページ
Beep	音量	1	アイコンのタップ音のONまたはOFFの切り替え → 40ページ
14-0	サニジェン	0	設定値を変更しないでください。
15-0	サニジェン動作 開始温度	0°C	設定値を変更しないでください。
16-0	サニジェン動作時間	0h40' (40分)	設定値を変更しないでください。
17-0	サニジェン休止時間	6h00' (6時間)	設定値を変更しないでください。
18-0	庫内ファンの 回転時間設定	10s (10秒)	設定値を変更しないでください。
19-0	庫内ファンの 回転停止時間設定	10m (10分)	設定値を変更しないでください。
20-0	サニジェン動作 と休止の繰返し 最大回数	3	設定値を変更しないでください。

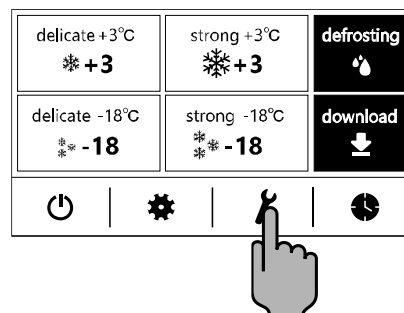
サイクルパラメーターに入るとディスプレイに、設定項目が2件表示され、『↓』アイコンをタップするごとにページがスクロールし、次の設定項目が2件表示されます。

時間または日付を変更する

待機画面に表示されている日付または時間が、現在の日付または時間と異なる場合は、下記の手順で設定してください。

1. 『↶』アイコンをタップしてください

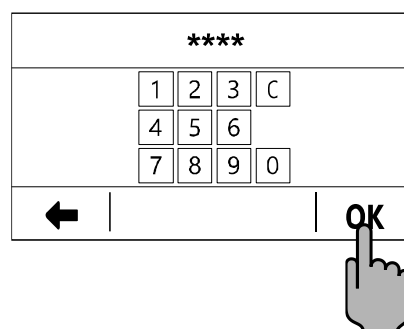
パスワードの入力画面が表示されます。



2. パスワードを入力してください

パスワード『9999』を入力して、『OK』アイコンをタップしてください。

「User parameters」の画面が表示されます。



3. 日付または時間の値を変更してください

『↓』アイコン、または『↑』アイコンをタップすると、ページをスクロールすることができます。

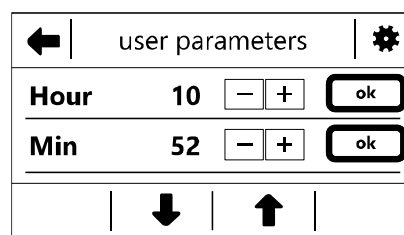
日付または時間の項目は下記のとおりです。

- 「Hour」 → 時
- 「Min」 → 分
- 「Year」 → 年（西暦の下2桁）
- 「Month」 → 月
- 「Day」 → 日

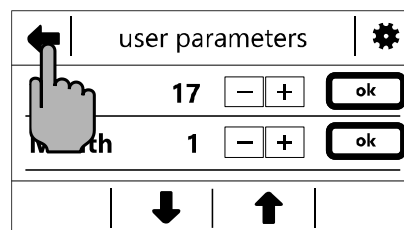
『-』アイコン、または『+』アイコンをタップして値を変更してください。

変更後は、『ok』アイコンをタップして確定してください。

『ok』アイコンをタップしないと、変更した値は反映されません。



ユーザーパラメーターの設定を終了する場合は、『←』アイコンをタップすると、ホーム画面に戻ります。

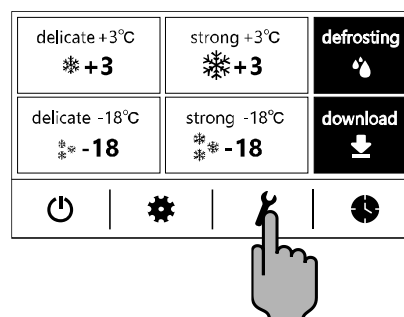


温度表示単位の切替え

温度の表示を摂氏（℃）または華氏（℉）に切替えることができます。

1. 『ℹ』アイコンをタップしてください

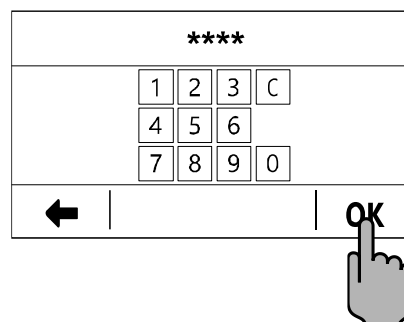
パスワードの入力画面が表示されます。



2. パスワードを入力してください

パスワード『9999』を入力して、『OK』アイコンをタップしてください。

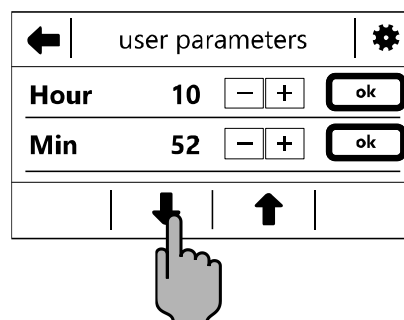
「User parameters」の画面が表示されます。



3. 「Scale」を表示させてください

『↓』アイコン、または『↑』アイコンをタップすると、ページをスクロールすることができます。

「Scale」を表示させてください。



4. 「Scale」の値を変更してください

値の内容は下記のとおりです。

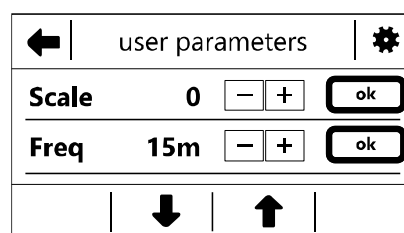
「0」 → 摂氏（℃）

「1」 → 華氏（℉）

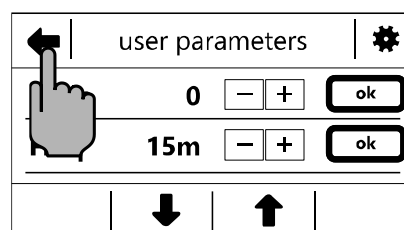
『-』アイコン、または『+』アイコンをタップして値を変更してください。

変更後は、『ok』アイコンをタップして確定してください。

『ok』アイコンをタップしないと、変更は反映されません。



ユーザーパラメーターの設定を終了する場合は、『←』アイコンをタップすると、ホーム画面に戻ります。

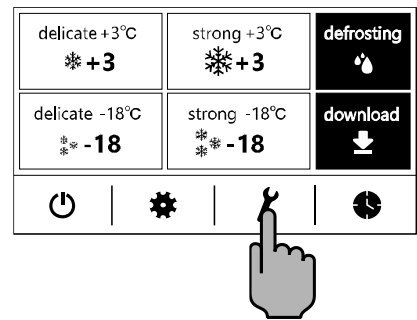


ソフトウェアのバージョンを確認

本機のソフトウェアのバージョンを確認することができます。

1. 『!』アイコンをタップしてください

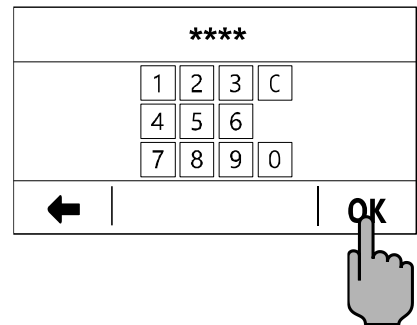
パスワードの入力画面が表示されます。



2. パスワードを入力してください

パスワード『9999』を入力して、『OK』アイコンをタップしてください。

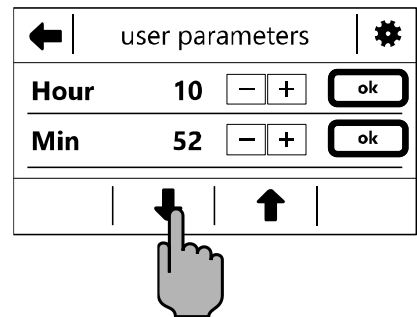
「User parameters」の画面が表示されます。



3. 「Rev」を表示させてください

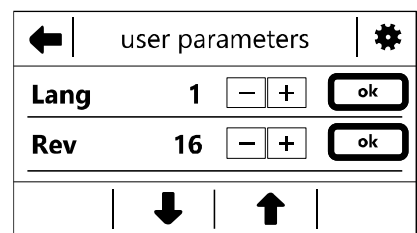
『↓』アイコン、または『↑』アイコンをタップすると、ページをスクロールすることができます。

「Rev」を表示させてください。

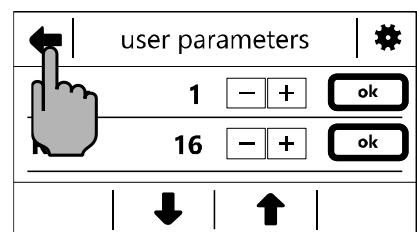


「Rev」に表示されている値がソフトウェアのバージョンになります。

『-』アイコン、または『+』アイコンをタップしても表示されている値は変更できません。



ユーザーパラメーターの設定を終了する場合は、『←』アイコンをタップすると、ホーム画面に戻ります。

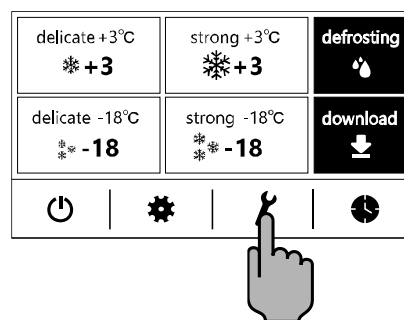


アイコンのタップ音の ON または OFF の切替え

アイコンをタップした際に音を鳴らさないようにする設定です。

1. 『ノ』アイコンをタップしてください

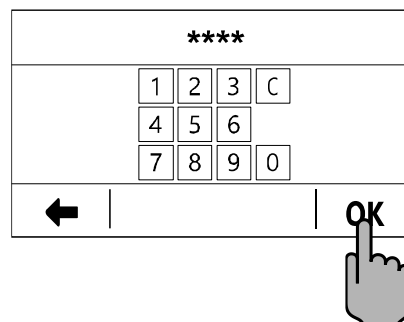
パスワードの入力画面が表示されます。



2. パスワードを入力してください

パスワード『9999』を入力して、『OK』アイコンをタップしてください。

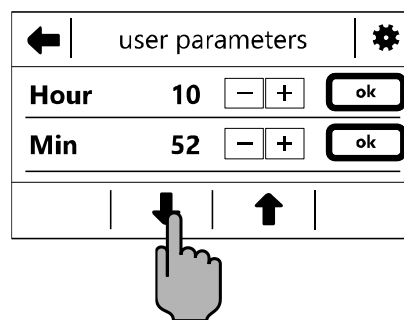
「User parameters」の画面が表示されます。



3. 「Beep」を表示させてください

『↓』アイコン、または『↑』アイコンをタップすると、ページをスクロールすることができます。

「Beep」を表示させてください。



4. 「Beep」の値を変更してください

値の内容は下記のとおりです。

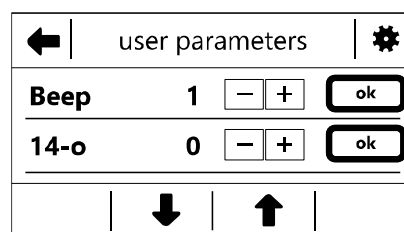
「0」 → 音を鳴らさない

「1」 → 音を鳴らす

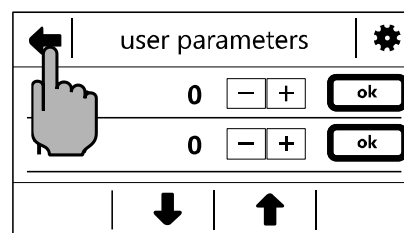
『-』アイコン、または『+』アイコンをタップして値を変更してください。

変更後は、『ok』アイコンをタップして確定してください。

『ok』アイコンをタップしないと、変更は反映されません。



ユーザーパラメーターの設定を終了する場合は、『←』アイコンをタップすると、ホーム画面に戻ります。



アラームコード

アラームコードについて

本機は、異常が発生した場合、ディスプレイにアラームコードが表示され、アラーム音が鳴ります。ディスプレイにアラームコードが表示された場合は、下記表を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、コンセントから本機の電源プラグを抜いて、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の際は、本機の型式名、機番、お買上げ日、アラームコード、機械の状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

アラームコード	主な原因	手当
ALARM ALD	サイクル中に扉が開いた	扉を閉めてください。
ALARM AS1	庫内温度プローブ異常	お買上げ店へ連絡してください。
ALARM AS2	芯温プローブ異常	お買上げ店へ連絡してください。
ALARM AS3	庫内温度プローブと 芯温プローブ異常	お買上げ店へ連絡してください。

上記以外のアラームコードが表示された場合もお買上げ店にご連絡ください。

アラームコードの履歴表示の確認

アラームコードが表示された場合、アラームコードの表示履歴として記録されます。

アラームコードの表示履歴は、最大5件まで記録されます。

すでにアラームコードの表示履歴が5件記録されている状態で、新しくアラームコードの表示履歴が追加記録されると、1番古い表示履歴が削除されます。

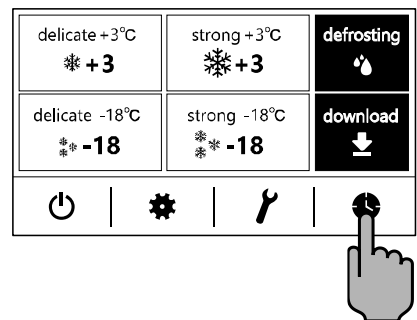
記録された各アラームが発生した日時は、USBメモリに温度データをコピーする際、一緒にコピーされます。

パソコンで、アラームが表示された日時とサイクルの温度データを確認し、食材の安全性を判断してください。

ここでは、アラームコードの表示履歴の確認のしかたについて説明します。

1. ホーム画面で『🔔』アイコンを5秒間押してください

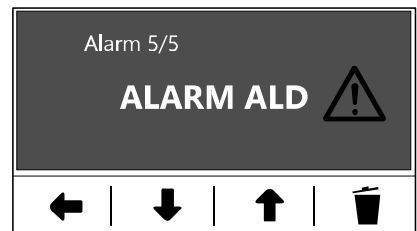
最後に表示されたアラームコードが表示されます。



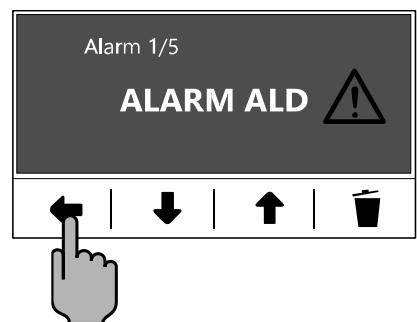
2. アラームコードの表示履歴を確認してください

『↓』アイコン、または『↑』アイコンをタップすると、スクロールします。

5/5～1/5まであります。



確認後、そのまま終了する場合は、『←』アイコンをタップするとホーム画面が表示されます。



メモ

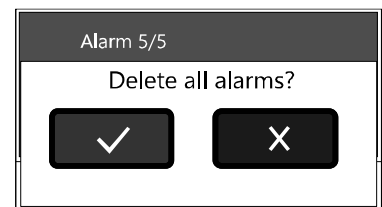
アラームコードの表示履歴を削除する場合は、『🗑️』アイコンをタップしてください。

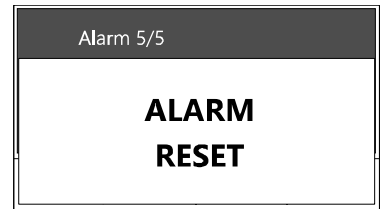
「Delete all alarms?」の画面が表示されます。

『✔️』アイコンをタップすると、「ALARM RESET」が表示された後、「NO ALARM」が表示されます。

これで、表示履歴が全て削除されます。

『←』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。





『 X 』アイコンをタップすると、表示履歴の削除をキャンセルして、「Delete all alarms?」の画面を閉じます。
『 ← 』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。

据え付けについて

ここでは、本機の据え付けについて説明します

据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備の準備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付場所

⚠ 注意



本機は、隣接面から後面は100mm以上離すこと
熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。



丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること
据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



水などをこぼしてもよい所に据え付けること
使用中、扉を開けたとき、扉に付着した水などが床に落ちます。
ドレンパンからあふれ出た水などが床面などを濡らすことがあります。
濡れると不都合な所には、据え付けしないでください。



熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと
熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。

風通しのよい所へ据え付けてください

湿気の多いところは、機械の寿命を短くしますので避けてください。

直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が30℃を超える高温の場所には据え付けしないでください

30℃を超えた場合、能力を十分に発揮ができない場合があります。
電気部品に影響をおよぼすなどして、故障の原因にもなります。

機械の周囲の温度が15℃を下まわるような低温の場所には据え付けしないでください

15℃を下まわった場合、能力を十分に発揮ができない場合があります。
電気部品に影響をおよぼすなどして、故障の原因にもなります。

湿度が高い、高くなる所には、据え付けしないでください

本機を使用する場所の湿度の条件は、55% 以下です。

近くに他の冷却装置がある場合、本体外側の結露防止のため30mm以上離して据え付けてください

本機の前面は、操作パネルの操作、扉の開閉、食材の出し入れに支障がない十分なスペースを確保してください

本機の後面は、隣接面から100mm以上離してください

空気吸い込み口熱がこもると、隣接した機器の能力に、影響を与える原因になります。

振動のない所へ据え付けてください

電源

⚠ 警告



本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



アース線を必ず接続すること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合は、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

本機を据付ける場所に近いところに、本機の専用コンセント（交流100V 定格15A以上）を設備してください

電源コードの長さ：約2.5m

据付け

設置

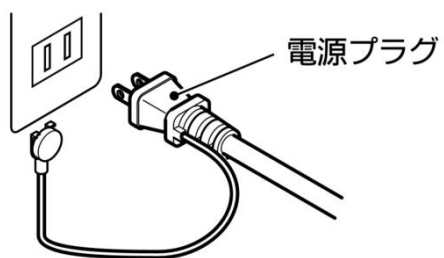
本機を所定の場所に据付けた後は、アジャスト脚の長さを調節して、本体を水平にしてください

空気吸い込み口の前には、空気吸い込みの妨げになる物は置かないでください

配線

1. アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください

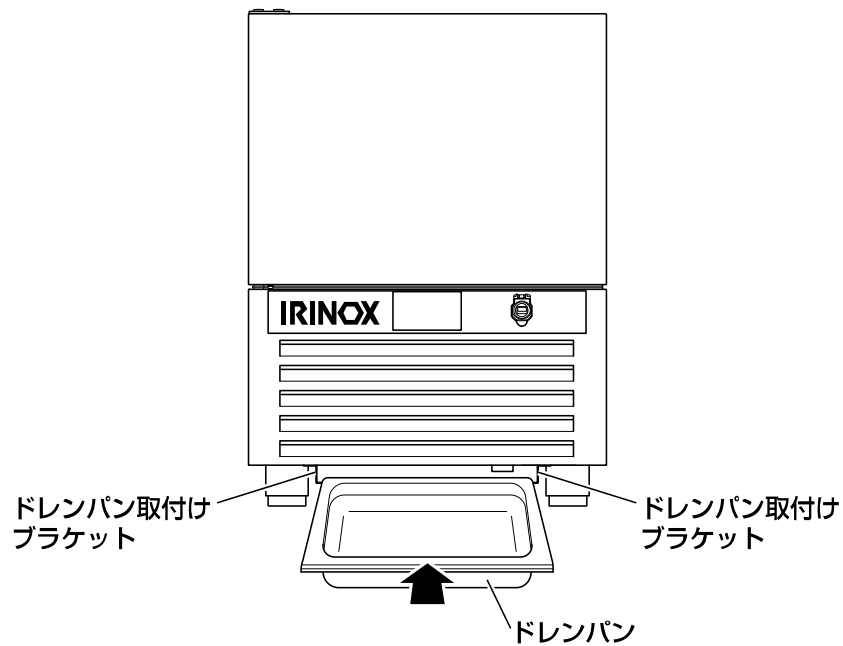
2. ご使用の際は、本機の専用コンセント（交流100V 定格15A以上）に電源プラグを差し込んでください



庫内の排水について

ドレンパンで排水を受ける場合

本体底にあるドレンパン取付けブラケットに、ドレンパンを手前からスライドさせるようにして入れてください。



お願い

庫内に水をかけて洗浄する場合など、一度に大量の排水をおこなうとドレンパンがあふれることがあります。

数度に分けて排水をおこない、その都度ドレンパンに溜まった水などを捨ててください。

排水ホースを接続して設備の排水孔などに排水を流す場合

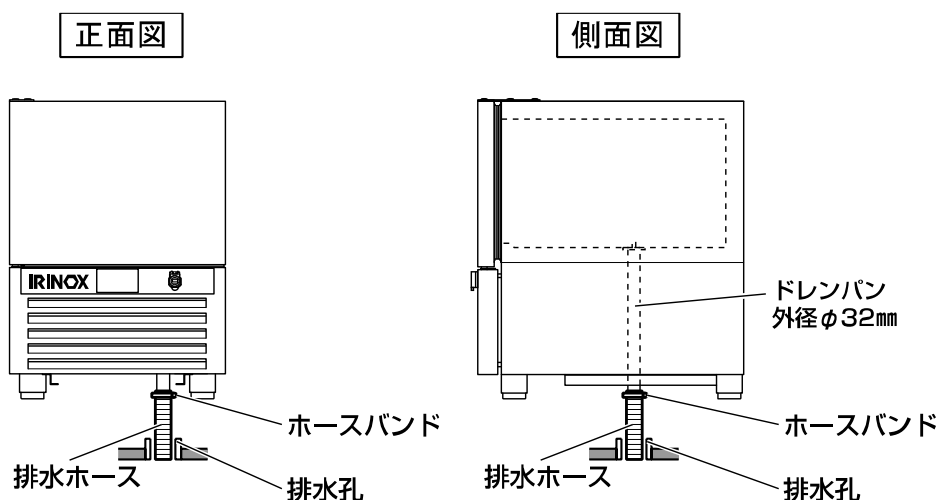
ドレンパンを使わずに、ドレンパイプの先端を本体底より引き出して排水ホースを接続し、排水孔または排水溝に排水を流すこともできます。

排水ホース、排水ホースを固定するためのホースバンドはお客様側でご用意ください。

1. 本機背面のメッシュカバーを取り外し、内部のドレンパイプを下方向へ延ばしてください

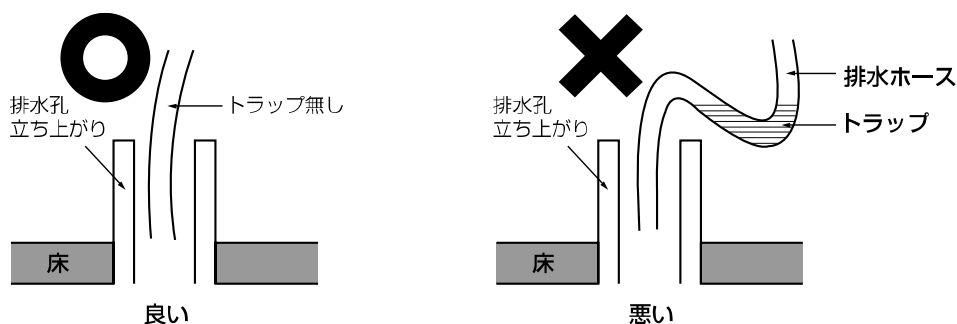
2. ドレンパイプの先に排水ホースを接続してください

ドレンパイプに接続した排水ホースは、抜けないようにホースバンドなどで固定してください。



3. ドレンパイプに接続した排水ホースの先端を排水孔または排水溝に差し込んでください

接続した排水ホースは、トラップのできないように排水孔または排水溝に差し込んでください。



4. 作業終了後は、本機背面にメッシュカバーを元どおりに取り付けてください。

据付後の動作確認

据え付け工事が終了しましたら、本機が正常に動作するか確認してください。

1. 専用コンセントに本機の電源プラグを差し込んでください

2. 『』アイコンをタップしてください

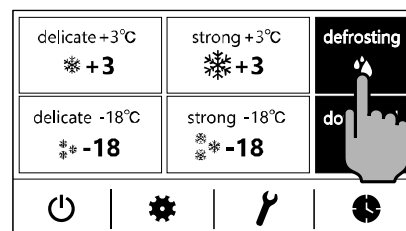
ホーム画面が表示されます。



3. 庫内ファンを回転させて、回転方向を確認してください

『defrosting』アイコンをタップしてください

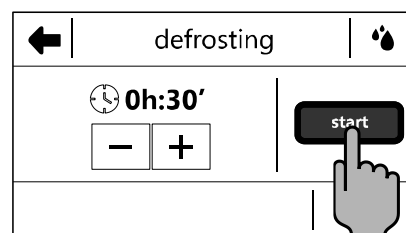
『defrosting』の画面が表示されます。



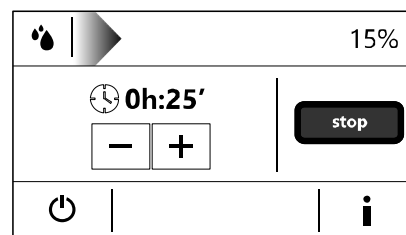
『start』アイコンをタップしてください。

庫内ファンが回転し、霜取り(デフロスト)が始まります。設定された時間(初期設定値は30分)、霜取り(デフロスト)をおこないます。

ディスプレイの上部に動作完了の割合(%), 中央には残りの霜取り時間(カウントダウン)が表示されます。



霜取り(デフロスト)中でも、『-』アイコンまたは『+』アイコンをタップすると、霜取り(デフロスト)の時間を変更することができます。



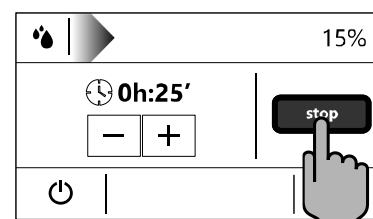
庫内ファンが回転しますので、回転方向を確認してください。

庫内ファンが反時計方向(吸い込み方向)に回転していれば、本機の動作確認は完了です。

回転方向が違う場合は、機械内部の調整が必要ですので、お買い上げ店に連絡してください。

3. 『stop』アイコンをタップして機械を止め、コンセントから電源プラグを抜いてください

これで据付け完了です。



仕様

品名	ブラストチラー&フリーザー[イリノックス]
型式	EF NEXT XS
外形寸法	幅 535・奥行 655・高さ 755mm (突起物を含む 高さ 742mm) (高さ調整範囲 735~755mm)
電源	100V 50/60Hz
電流	9.5A / 10A
消費電力	790W / 900W
庫内ファンモーター	40W (冷気循環用)
圧縮器	830W 空冷式
冷媒	R404a 900g
標準温度設定	チリング：-5℃ (1次冷却) ~ -1℃ (2次冷却) (調整可能) フリージング：-35℃ (1次冷却) ~ -20℃ (2次冷却) (調整可能)
芯温計設定	チリング：3℃ (調整可能) フリージング：-18℃ (調整可能)
タイマー	マニュアルモード 0~4:00 (4時間) (調整可能)
処理量	チリング : 10kg フリージング : 9kg
本体外装	ステンレス
庫内寸法	幅 325・奥行 548・高さ 305mm (間口を基準にした寸法)
棚間隔	80mmピッチ×3段
収納ホテルパン	GN 1/1 (オプション)
質量	72kg
電源コード	長さ 2.5m

※庫内ファンモーター、圧縮機は、出力表示です。

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

マイナスドライバー	1本 (庫内のファンカバーのネジ用)
グリッド	2枚
取扱説明書 (本書)	1冊
保証書	1部

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

パッキン類	凝縮器フィルター	—
-------	----------	---

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市盛川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202310 PC